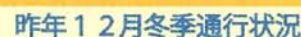




演題

*** 入場無料 ***

[illegible]

時間 15時00分～18時00分

会場 湯沢文化会館

事務局：湯沢商工会議所
〒012-0824
湯沢市佐竹町 4-2
TEL 0183-73-6111

開催目的

私達が安心安全で幸せに暮らすために、雇用を促進し地域経済を活性化するために、そして災害時に人命救助・支援物資運搬に寄与するために、今一度「道路の果たす役割と必要性」を確認し合います。そこで集約した市民の声を国や関係各所に届け、真に必要な道路の早期実現を目指すため、本会を開催いたします。

実施に至る背景

東北地方は食糧の自給率や世界の食糧危機が心配される今日、戦略的に重要な日本の食糧基地であり、ふるさと秋田もその中で重要な役割を担っております。しかしながら社会資本整備のアンバランスは、国内だけでなく東北においても地域格差を生じさせております。また当地域の産業、経済、文化の新たな発展と魅力ある定住社会の創造のためには、他地域との連携が極めて重要です。さらに高規格道路は住民の生活と安全に非常に重要な役割を担う社会資本でもあります。そして東日本大震災や岩手・宮城内陸地震では、不通になった国道に代わり高規格道路が威力を発揮したように、災害時の危機管理上においても重要である事は言うまでもありません。

東北中央自動車道は秋田自動車道、東北自動車道をはじめ、他の自動車道との接続により一体感のある多軸型国土形成がなされます。これにより医療、福祉等生活の安全は言うに及ばず、観光産業の発展、物流の活性化、地場産業の発展が図られ、起業や多様な雇用による若者の定住化促進も図られます。そのためにも高規格道路整備は不可欠であります。

しかし、内陸の秋田・山形県境部においては事業着手が度重なる陳情にも係わらず立ち後れの現状にあり、私達は早期開通に向け、さらに地域を挙げ国や関係機関に働きかけを行ってゆかなければならないと考えております。この度は、単なる地方の道路整備ではなく我国発展のための基礎的地域整備である事を私達地域の住民がさらに認識を新たにし、その思いを集約し、大きな波を起こし広げ、各方面に訴えるべく本会の開催に至りました。

プログラム

- 15:00 開 会
主催者代表挨拶
来賓祝辞
- 15:30 基調講演
講師 読売新聞 特別編集委員 橋本五郎氏
テーマ「みちのく新時代の足掛かり」
- 16:40 パネルディスカッション
パネリスト
橋本五郎氏
西本由美子氏 (NPO法人ハッピーロードネット 理事長)
他調整中
- 18:00 主催者挨拶
閉 会

プロフィール

橋本五郎氏 (はしもと ごろう)

1946年 秋田県琴丘町(現三種町)生まれ
1970年 慶応義塾大学法学部政治学科卒業
同年 読売新聞入社、浜松支局に配属
1975年 本社社会部
1976年 政治部
1992年 政治部次長
1994年 論説委員(政治、外交担当)
1997年 政治部長
1998年 編集局次長
2001年 読売新聞編集委員
2006年 読売新聞特別編集委員(～現在)

公安審査委員会委員、東日本大震災復興構想会議委員などを歴任し、現在、読売テレビ「ウェークアップ! ぶらす」コメンテーターなどを務める。

西本由美子氏 (にしもと ゆみこ)

■出身地 福島県いわき市
■役職等 NPO法人ハッピーロードネット 理事長
福島県総合計画審議会 委員
相双地域活性化ビジョン推進委員会 委員
福島県厚生保護女性の会 委員
広野町交通安全母の会 会長
常磐道を応援する女性の会 代表
すまいるふたば観光交流大使
福島県ハンサムウーマン 第1号 など

■主な活動

・ハッピーロードネットによる、地元高校生を対象とした「みちづくり」アンケートの実施やワークショップなどを開催するなど、地域づくり活動を実施し、道路の愛護活動にも取り組んでいる。

